

電子オルガンコース							
1 年次		2 年次					
前期	後期	前期			後期		
		専門職	総合楽器店	一般職	専門職	総合楽器店	一般職
電子オルガン I	電子オルガン II	電子オルガン III	電子オルガン III	電子オルガン III	電子オルガン IV	電子オルガン IV	
電子オルガンキャリア実践 I	電子オルガンキャリア実践 II	電子オルガンキャリア実践 III	電子オルガンキャリア実践 III	電子オルガンキャリア実践 III	電子オルガンキャリア実践 IV	電子オルガンキャリア実践 IV	
電子オルガン応用実践 I	電子オルガン応用実践 II	電子オルガン応用実践 III	電子オルガン応用実践 III	電子オルガン応用実践 III	電子オルガン応用実践 IV	電子オルガン応用実践 IV	
	P・O・アンサンブル I	P・O・アンサンブル II	P・O・アンサンブル II	P・O・アンサンブル II			
ヴォーカル I	ヴォーカル II	ヴォーカル III	ヴォーカル III	ヴォーカル III	ヴォーカル IV	ヴォーカル IV	
ソルフェージュ I	ソルフェージュ II	ソルフェージュ III	ソルフェージュ III	ソルフェージュ III	ソルフェージュ IV	ソルフェージュ IV	
音楽史 I	音楽史 II	ピアノ/演習 I	ピアノ/演習 I	ピアノ/演習 I	ピアノ/演習 II	ピアノ/演習 II	
音楽総合特講 I	音楽総合特講 II	音楽総合特講 III	音楽総合特講 III	音楽総合特講 III			
		音楽指導研究	音楽指導研究	音楽指導研究	鍵盤楽器研究	鍵盤楽器研究	鍵盤楽器研究
			卒業研究 I			卒業研究 II	
			楽器店実習				
	公務員・一般職対策 I	公務員・一般職対策 II	公務員・一般職対策 II	公務員・一般職対策 II			
和声法 I	和声法 II		和声法 III			和声法 IV	
音楽療法実践 I	音楽療法実践 II		音楽療法実践 III			音楽療法実践 IV	
						ポピュラー音楽史	
			和太鼓 I			和太鼓 II	
						作譜	
	スノー・フ・レクリエーション I		スノー・フ・レクリエーション II			スノー・フ・レクリエーション III	
音楽理論 I	音楽理論 II						
音楽心理学	音楽療法演習		臨床における即興技法 I			臨床における即興技法 II	
発達心理学	音楽療法・基礎		音楽療法・臨床			音楽療法・技法	
子どもの保健						特別支援教育	
教育原理						社会福祉	
						臨床実習(事前・事後指導を含む)	
授業科目: 必修科目10単位							

卒業必修(1年次)

卒業必修(2年次)

MT資格必修科目

選択科目

CP

- ① 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
- ② 音楽を通して人間的な成長と専門的な知識と技術を学ぶための基礎教育と専門教育を実施する。
- ③ 地域社会の音楽文化の向上に貢献し、地域で求められる活動を学び推進させるために充実した学外演奏や学外ボランティア活動、実習を実施する。
- ④ 各コース担当者は授業時間内外で学生との対話に努め、能力に応じた指導を行い、個々の成長を支援する。
- ⑤ 学生は自ら専攻するコース以外でも選択可能な他コースの授業を受講することができ、広い知識を身につけることができる。
- ⑥ 音楽関係、心理関係の資格取得を支援する教育を実施する。

DP

- ① 音楽の基礎的な理論や曲の生まれた背景を理解し、人に音楽を伝えるための知識を修得することができる。
- ② 音楽演奏や教育を行うにあたって必要な理論を適切に判断し、相手の理解に応じて伝えることができる。
- ③ 音楽の専門家としての情報収集能力と技術をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。
- ④ 常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通じて人と関わり、地域との連携、音楽文化の向上に向けた社会貢献を推進していくことができる。